

## 「勝利宣言」

一方的な休日出勤反対！ストライキ闘争貫徹！

### 勝利宣言

われわれは本日ここに、一方的な休日出勤反対！ストライキ闘争の勝利を高らかに宣言する。

昨年12月9日のストライキ突入から、凍てつく冬の日々を経て今日まで108日間・延べ176名の仲間が心に炎を燃やしつつ、堂々とストライキをたたかい抜いた。

たたかいの端緒は即自的であり、極めて明確である。「休日になぜ一方的に出勤させられるのか」「休日は休日として休みたい」であり、そして会社に「黙って言うことを聞け」と言われて「黙ってられるか」であった。

職場で会社に向い「休みたい」と訴え、「業務指示」という会社の不遜な態度に憤慨した。他方で「俺らのところは休日出勤は指定してこないだろう」と高をくくっていた職場もあった。

たたかいは足踏みした。躊躇した。足踏みし躊躇しながら考え、悩み、発意し、議論し、組織としてストライキで闘うことをわれわれは決意した。

たたかいは会社を突き動かし大幅な要員増を勝ちとった。そして「わたらの笑顔で職場が明るくなった」とストライキ闘争を担い、われわれ自身が強くなり職場の空気さえも変えてきた。

たたかいへの支援・連帯は全国へ、更に世界へ広がった。われわれは産別や国境を超えてあらゆる市民運動との連携、世界の労働者との連帯を組織一丸となって追求した。全国・世界から寄せられた賛同署名・メッセージは合わせて300を超えた。まさに反グローバリズムのたたかいであった。

「一方的な休日出勤反対」のたたかいは勝利した。次なるたたかい＝社員間の競争を煽り、格差を拡大させる「新人事・賃金制度」反対のたたかいに決起しようではないか。さらにスクラムを強く組み進もうではないか。

もう一度言う！「黙って言うことを聞け」と言われて黙ってられるか。

全組合員のみなさん！鉄路の勇者として断固たたかおう！心あわせ、力あわせ、われわれの未来を創造しようではないか。

以上宣言する。

2006年3月26日

ジェイアール東海労働組合（JR東海労）

一方的な休日出勤反対！ストライキ闘争貫徹！

勝利宣言集 会

「二方的な休日出勤反対」のストライキ闘争を集約！  
4月の指定数はピーク時の1/3に激減  
完全解消を求めて「申」提出！